

検査案内

<患者さん用>

文書番号：A250-01LAB-D-004-20241201

第 10 版

作成者	佐藤 文美		作成日	2024 年 11 月 12 日
確認者	岩井 利恵		確認日	2024 年 11 月 14 日
承認者	木内 清恵		承認日	2024 年 11 月 15 日

地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

中央検査科・臨床病理科

目次

I. 概要

1. 目的
2. 倫理行為に関する制約および検査室の独立性、公平性
3. 検査科概要

II. 中央検査科

1. 検査依頼方法
2. 患者同意に関する事項
3. 採血管の種類とバーコード
4. 各種検査項目一覧
5. 検体受け入れ不可基準
6. 検査の追加および中止
7. 検体の取り直しの対応方法
8. 個人情報保護に関する検査室の方針
9. 検査室の苦情処理手順
10. 残余検体について
11. 関連文書・記録

III. 臨床病理科

1. 検査依頼方法
2. 患者同意に関する事項
3. 採血管の種類とバーコード
4. 各種検査項目一覧
5. 検体受け入れ不可基準
6. 検査の追加および中止
7. 検体の取り直しの対応方法
8. 個人情報保護に関する検査室の方針
9. 検査室の苦情処理手順
10. 関連文書・記録

I. 概要

1. 目的

当院で検査を行う患者さん向けに、検査についてご理解いただくために検査の依頼方法から結果までを記載しました。各種検査項目について、検体の取扱いの注意点や検査所要時間についても明記していますので参考にして下さい。

2. 倫理行為に関する制約および検査室の独立性、公平性

データの能力、公平性、判断または業務上の統合性に対する信頼を損なう恐れのある、いかなる活動にも関与しません。

業務を遂行するにあたり、以下の倫理行為に関する事項を遵守します。

- ・医療従事者であることを自覚し、職務が社会への影響も大きいことから模範となるような法規範を遵守します。
- ・外部との経済的な利益関係などを結ぶ行為はしません。
- ・結果の改ざんを行いません。
- ・業務上知り得た情報は認められている範囲を超えて、院内および院外の第3者へ開示、提供しません。

3. 検査科概要

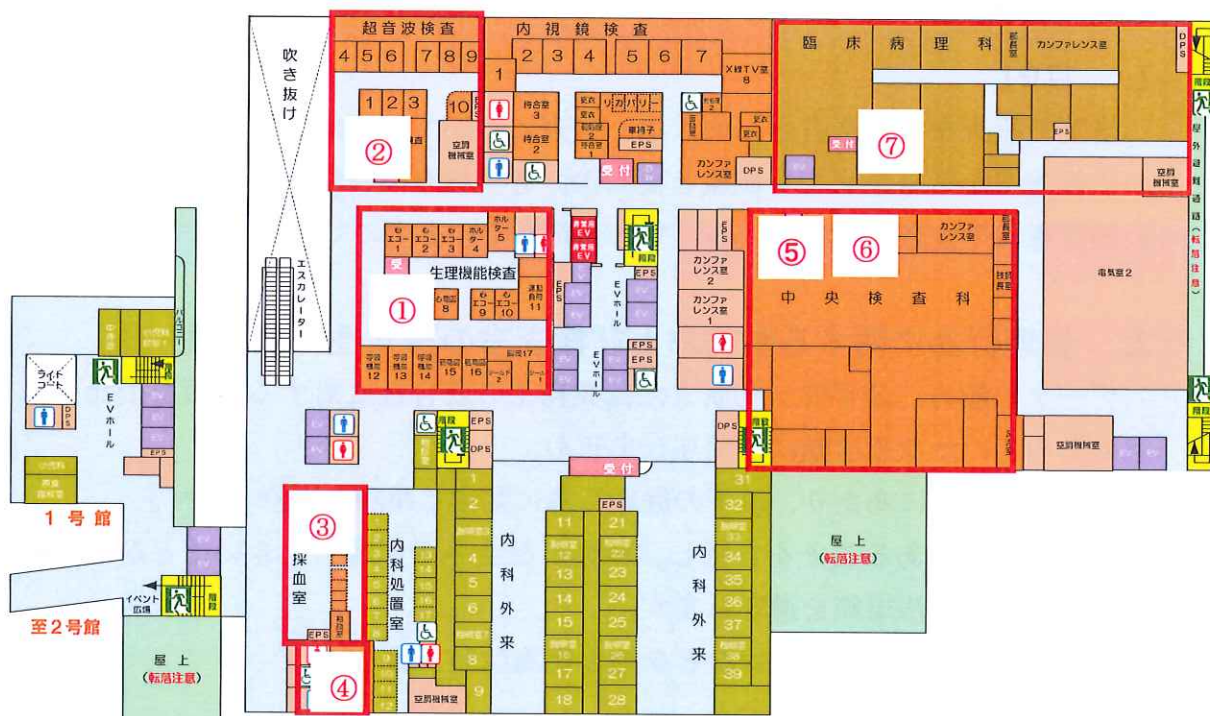
3.1 中央検査科・臨床病理科所在地

千葉県旭市イ-1326

独立行政法人 総合病院国保旭中央病院内

本館 2階

- (1) 生理機能検査（心電図、心エコー、呼吸機能、脳波）
- (2) 超音波検査（腹部超音波、表在超音波）
- (3) 中央採血（外来患者採血他）
- (4) 外来検査（採血室隣りトイレと直結）
- (5) 中央検査科検体検査（検体受付、生化学、血液、免疫、細菌）
- (6) 輸血部（血液製剤受渡）
- (7) 臨床病理科



1) 生理機能検査（心電図、心エコー、呼吸機能、脳波）	平日 7：45～17：15
2) 超音波検査	平日 7：45～17：15
3) 中央採血（外来患者採血他）	平日 7：15～17：15
4) 外来検査室（採血室脇トイレと直結）	平日 7：30～17：15
5) 中央検査科検体検査（検体受付、生化、血液、免疫、細菌）	24 時間対応 日勤 7：30～17：00 夜勤 17：00～8：00
6) 輸血部（血液製剤受渡）	24 時間対応
7) 臨床病理科	平日 8：00～17：15

1.4 システム停止時

「システム停止時 オーダ伝票」を用いて医師が依頼します。

2. 患者同意に関する事項

2.1 医師によるインフォームドコンセント

医師が検査の必要性を説明し、インフォームドコンセントを行なう事により、同意を得ています。

3. 採取容器の種類とバーコードラベル

3.1 採血管の種類

採血管の取り扱い一覧

転倒混和→量・凝固確認！！											
検査項目	生化学	生化学	血算	凝固	血沈	アンモニア	乳酸	BNP	クロス用採血	輸血 血型他	エンドキシン/ 8Dゲルカン
蓋の特徴											
採血量	6ml	6ml	2ml	1.8ml	1.1ml	2ml	2ml	5ml	7ml	7ml	3ml
内容物	分離剤	分離剤	EDTA2K	クエン酸Na	クエン酸Na	EDTA2K	フッ化Na	EDTA2Na	EDTA2Na	EDTA2Na	専用採血管
混和	採血後は転倒混和										
備考・注意	少量検体 やシリンジ 圧で溶血 することが ある	少量検体 やシリンジ 圧で溶血 することが ある	凝固しやす いため必 ず転倒混 和する	規定量を 採り、転倒 混和し、早 めに提出	規定量を 採り、泡立 たないよう 転倒混和 する	氷水に入 れて早め に提出 2023.1.1より変更	氷水に入 れて早め に提出(血 糖のみは 室温)	氷水に入 れて提出	できる限り全量を探る 2本同時に採血する場合は 必ず刺し直して別採血する もう一度患者確認する	氷水 生化学とは 違い分離剤 なし(上記 以外は検査 不可)	
											

《その他》

※シリンジ採血の場合、採血後直ちに採血管へ血液を移し転倒混和してください。シリンジに血液を入れたまま放置すると凝固や血球沈殿による異常値の原因となります。

3.2 バーコードラベルの見方



4. 各種検査項目一覧

4.1 院内検査項目一覧

- 1) 生化学
- 2) 血液
- 3) 免疫化学
- 4) 免疫
- 5) 一般
- 6) 輸血
- 7) 細菌

<記載内容>

検査項目、採取容器、搬送条件、遠心条件、検体種別、分取容器、必要量、保存方法、追加対応、検査方法、測定機器、生物学的基準範囲、単位、TAT、注意点・その他

4.2 院外検査項目

- 1) SRL
SRL「総合検査案内」参照
- 2) LSI
LSI メディエンス「総合検査案内」参照
- 3) BML
BML「総合検査案内」参照

4.3 院内検査項目詳細一覧

生化学検査1 （問合せ先：内線 92072）

2024年12月1日現在

検査項目	夜間 休日	検体 種別	採取容 器	搬送 条件	採血管 容量 (mL)	生物学的基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加 対応	TAT	送心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
CRP	★	血液	青or 桃	室温	6	0.0 ～ 0.14 mg/dL	LABOSPECT 008α ラテックス比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52.5	× 冷蔵	
TP	★	血液	青or 桃	室温	6	6.6 ～ 8.1 g/dL	LABOSPECT 008α ピウレット法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	53	× 冷蔵	
ALB	★	血液	青or 桃	室温	6	4.1 ～ 5.1 g/dL	LABOSPECT 008α BCP改良法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52	× 冷蔵	
AST(GOT)	★	血液	青or 桃	室温	6	13 ～ 30 U/L	LABOSPECT 008α JSCC標準化対応法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	55.5	× 冷蔵	溶血(+)誤差
ALT(GPT)	★	血液	青or 桃	室温	6	男 10 ～ 42 U/L	LABOSPECT 008α JSCC標準化対応法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	55.5	× 冷蔵	
						女 7 ～ 23 U/L							
LD(IFCC)	★	血液	青or 桃	室温	6	124 ～ 222 U/L	LABOSPECT 008α IFCC標準化対応法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	53	× 冷蔵	溶血(+)誤差
ALP(IFCC)	★	血液	青or 桃	室温	6	38 ～ 113 U/L	LABOSPECT 008α IFCC標準化対応法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	53	× 冷蔵	
LAP	★	血液	青or 桃	室温	6	30 ～ 70 U/L	LABOSPECT 008α 酵素法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	53.8	× 冷蔵	
CHE	★	血液	青or 桃	室温	6	男 240 ～ 486 U/L	LABOSPECT 008α JSCC標準化対応法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	56	× 冷蔵	
						女 201 ～ 421 U/L							
γ-GT(γ-GTP)	★	血液	青or 桃	室温	6	男 13 ～ 64 U/L	LABOSPECT 008α JSCC標準化対応法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	53.7	× 冷蔵	
						女 9 ～ 32 U/L							
T-BiL	★	血液	青or 桃	室温	6	0.4 ～ 1.5 mg/dL	LABOSPECT 008α 酵素法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	54.5	× 冷蔵	
D-BiL	★	血液	青or 桃	室温	6	0.4以下 mg/dL	LABOSPECT 008α 酵素法(δビリルビン消去法)	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	54.5	× 冷蔵	
CK(CPK)	★	血液	青or 桃	室温	6	男 59 ～ 248 U/L	LABOSPECT 008α JSCC標準化対応法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	53.8	× 冷蔵	
						女 41 ～ 153 U/L							
UA	★	血液	青or 桃	室温	6	男 3.7 ～ 7.0 mg/dL	LABOSPECT 008α ウリカーゼPOD法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52.4	× 冷蔵	
						女 2.6 ～ 5.5 mg/dL							
UN	★	血液	青or 桃	室温	6	8 ～ 20 mg/dL	LABOSPECT 008α クレアセ・ゲルタミン酸脱水素酵 素法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52.4	× 冷蔵	
クレアチニン	★	血液	青or 桃	室温	6	男 0.65 ～ 1.07 mg/dL	LABOSPECT 008α 酵素法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52.5	× 冷蔵	
						女 0.46 ～ 0.79 mg/dL							
Ca	★	血液	青or 桃	室温	6	8.8 ～ 10.1 mg/dL	LABOSPECT 008α アルセナゾⅢ	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	51.7	× 冷蔵	
P	★	血液	青or 桃	室温	6	2.7 ～ 4.6 mg/dL	LABOSPECT 008α 酵素法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52	× 冷蔵	
Mg	★	血液	青or 桃	室温	6	1.8 ～ 2.4 mg/dL	LABOSPECT 008α 酵素法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	51.5	× 冷蔵	

追加対応：可 採取日を含めて7日間

生化学検査2 （ 問合せ先 ： 内線 92072 ）

2024年12月1日現在

検査項目	夜間 休日	検体 種別	採取容 器	搬送 条件	採血管 容量 (mL)	生物学的基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加 対応	TAT	遠心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他	
アミラーゼ	★	血液	青or桃	室温	6	44 ～ 132 U/L	LABOSPECT 008α JSCC標準化対応法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52.2	×	冷蔵	
リパーゼ	★	血液	青or桃	室温	6	13 ～ 55 U/L	LABOSPECT 008α 合成基質比色法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	62	×	冷蔵	
Fe		血液	青or桃	室温	6	40 ～ 188 μg/dL	LABOSPECT 008α Nitroso-PSAP法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	62	×	冷蔵	日内変動あり
UIBC		血液	青or桃	室温	6	男 170 ～ 250 μg/dL	LABOSPECT 008α Nitroso-PSAP法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	65	×	冷蔵	
						女 180 ～ 270 μg/dL								
Na	★	血液	青or桃	室温	6	138 ～ 145 mmol/L	LABOSPECT 008α 希釈イオン選択電極法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	65	×	冷蔵	
K	★	血液	青or桃	室温	6	3.6 ～ 4.8 mmol/L	LABOSPECT 008α 希釈イオン選択電極法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	65	×	冷蔵	溶血(+)誤差
Cl	★	血液	青or桃	室温	6	101 ～ 108 mmol/L	LABOSPECT 008α 希釈イオン選択電極法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	65	×	冷蔵	
T-CHO	★	血液	青or桃	室温	6	142 ～ 248 mg/dL	LABOSPECT 008α コレステロール酵素法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	51.5	×	冷蔵	
TG	★	血液	青or桃	室温	6	149 以下 mg/dL	LABOSPECT 008α 酵素比色法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	51.5	×	冷蔵	
HDL-C	★	血液	青or桃	室温	6	40 以上 mg/dL	LABOSPECT 008α 直接法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52	×	冷蔵	
LDL-C	★	血液	青or桃	室温	6	139 以下 mg/dL	LABOSPECT 008α 直接法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52	×	冷蔵	
Lp(a)		血液	青or桃	室温	6	30 以下 mg/dL	LABOSPECT 008α 免疫比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52.5	×	冷蔵	
亜鉛		血液	青or桃	室温	6	66 ～ 118 μg/dL	LABOSPECT 008α 比色法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	60	×	冷蔵	日内変動あり
プレアルブミン		血液	青or桃	室温	6	22 ～ 40 mg/dL	LABOSPECT 008α 免疫比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52.4	×	冷蔵	
シスタチンC		血液	青or桃	室温	6	0.53 ～ 0.95 mg/L	LABOSPECT 008α ラテックス比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52.5	×	冷蔵	
CK-MB	★	血液	青or桃	室温	6	5以下 ng/mL	LABOSPECT 008α 免疫比濁法	可	60分 以内	1670 g 10min 血清	50	×	冷蔵	
フェリチン		血液	青or桃	室温	6	男 21～282 女 5～157 ng/mL	LABOSPECT 008α ラテックス凝集法	可	60分 以内	1670 g 10min 血清	20	×	冷蔵	

追加対応：可 採取日を含めて7日間

生化学検査3 (問合せ先 : 内線 92072)

2024年12月1日現在

検査項目	夜間 休日	検体 種別	採取容 器	搬送 条件	採血管 容量 (mL)	生物学的基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加 対応	TAT	凍心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
血糖	★	血液	灰	室温	2	73 ～ 109 mg/dL	GA09 II 電極法	不可	60分 以内	1200g 2分 血漿	55	×	食事の影響あり
血糖	★	血液	灰	室温	2	73 ～ 109 mg/dL	LABOSPECT 008 α 酵素法	不可	60分 以内	1200g 2分 血漿	55	×	食事の影響あり
乳酸	★	血液	灰	氷水	2	小児 5.0 ～ 18.0 mg/dL 成人 4.0 ～ 16.0 mg/dL	LABOSPECT 008 α 酵素法(酸化発色法)	不可	60分 以内	冷却 1670 g 10 min 血漿	51.5	×	
HbA1c		血液	灰	室温	2	4.9～6.0 %	HLC-723G11 HPLC法	可	60分 以内	1200g 2分 血漿	500	×	
グリコアルブミン		血液	灰	室温	2	11.0 ～ 16.0 %	LABOSPECT 008 α 酵素法・BCP改良法	可	60分 以内	1200g 2分 血漿	54	×	
1.5AG		血液	灰	室温	2	14 以上 μg/mL	LABOSPECT 008 α 酵素比色法	可	60分 以内	1200g 2分 血漿	532	×	
CH50		血液	茶	室温	7	25 ～ 48 U/mL	LABOSPECT 008 α 豚「J」-m免疫測定法	不可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	54	「リットル」 凍結	
IgG		血液	茶	室温	7	861 ～ 1747 mg/dL	LABOSPECT 008 α 免疫比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	51.5	「リットル」 凍結	
IgA		血液	茶	室温	7	93 ～ 393 mg/dL	LABOSPECT 008 α 免疫比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	51.5	「リットル」 凍結	
IgM		血液	茶	室温	7	男 33 ～ 183 mg/dL 女 50 ～ 269 mg/dL	LABOSPECT 008 α 免疫比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	51.5	「リットル」 凍結	
C3		血液	茶	室温	7	73 ～ 138 mg/dL	LABOSPECT 008 α 免疫比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	522	「リットル」 凍結	
C4		血液	茶	室温	7	11 ～ 31 mg/dL	LABOSPECT 008 α 免疫比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	522	「リットル」 凍結	
β-Dグルカン		血液	エンド キシン用 採血管	氷水	3	11 pg/mL以上は陽性	トキシノメーター MT-5500	不可		1200g 2分 血漿	130	エンドキシン用分 取管	
エンドキシン		血液	エンド キシン用 採血管	氷水	3	5 pg/mL以下	トキシノメーター MT-5500	不可		1200g 2分 血漿	130	エンドキシン用分 取管	
透析液 エンドキシン		透析液	エンド キシン用 透析液 採取管	室温		0.05EU/mL未満 OUTのみ0.001EU/mL未満	トキシノメーター MT-DIA	不可			300		
RF		血液	茶	室温	7	15 以下 IU/mL	LABOSPECT 008 α ラテックス比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	53	「リットル」 凍結	
浸透圧		血液	青or 桃	室温	6	275～290 mOsm	オズモステーション OM-6060 氷点降下法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	500		
メコニウム インデックス		尿	尿or 吐物	室温 遮光		<1 正常 1～2境界 >2MAS	比色計 比色法	不可					
アプトテスト		血液	血液 付着物	室温		母親由来 新生児由来 混合	用手法 NaOH法	不可					
β 2MG(血清)		血液	青or 桃	室温	6	0.8 ～ 2.0 mg/L	LABOSPECT 008 α ラテックス比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	52	×	
可溶性IL-2R (院内)		血液	青or 桃	室温	6	204 ～ 587 U/mL	LABOSPECT 008 α ラテックス比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	542	×	2024年4月1日 より
KL-6(院内)		血液	青or 桃	室温	6	500未満 U/mL	LABOSPECT 008 α ラテックス比濁法	可	60分 以内	1670 g 10 min 血清	51.5	×	2024年10月1日 より

追加対応：可 採取日を含めて7日間

生化学検査4 （ 問合せ先 ： 内線 92072 ）

(尿項目) 2024年12月1日現在

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (mL)	生物学的基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加 対応	TAT	遠心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
UA	★	尿	尿カップ	室温			LABOSPECT 008 α ウリカーゼPOD法	可	60分以内	1670 g 10 min 尿	52.4	プラ試験管 冷蔵	
UN	★	尿	尿カップ	室温			LABOSPECT 008 α ウレアーゼ/グルタミン酸脱水素酵素法	当日のみ	60分以内	1670 g 10 min 尿	60	プラ試験管 冷蔵	
クレアチニン	★	尿	尿カップ	室温			LABOSPECT 008 α 酵素法	可	60分以内	1670 g 10 min 尿	60	プラ試験管 冷蔵	
Ca	★	尿	尿カップ	室温			LABOSPECT 008 α アルセナゾⅢ	可	60分以内	1670 g 10 min 尿	51.7	プラ試験管 冷蔵	
P	★	尿	尿カップ	室温			LABOSPECT 008 α 酵素法	可	60分以内	1670 g 10 min 尿	52	プラ試験管 冷蔵	
Mg	★	尿	尿カップ	室温			LABOSPECT 008 α 酵素法	可	60分以内	1670 g 10 min 尿	51.5	プラ試験管 冷蔵	
アミラーゼ	★	尿	尿カップ	室温			LABOSPECT 008 α JSCC標準化対応法	可	60分以内	1670 g 10 min 尿	52.2	プラ試験管 冷蔵	
Na	★	尿	尿カップ	室温			LABOSPECT 008 α 希釈イオン選択電極法	可	60分以内	1670 g 10 min 尿	65	プラ試験管 冷蔵	
K	★	尿	尿カップ	室温			LABOSPECT 008 α 希釈イオン選択電極法	可	60分以内	1670 g 10 min 尿	65	プラ試験管 冷蔵	
Cl	★	尿	尿カップ	室温			LABOSPECT 008 α 希釈イオン選択電極法	可	60分以内	1670 g 10 min 尿	65	プラ試験管 冷蔵	
CCr24時間法		血液・尿	青or桃 尿カップ	室温		70 ～ 130 mL/min	LABOSPECT 008 α 酵素法	可		1670 g 10 min	60	血液：× 冷蔵	
CCr2時間法			尿カップ			70 ～ 130 mL/min	LABOSPECT 008 α 酵素法	可		血清・尿		尿：プラ試験管 冷蔵	
浸透圧		尿	尿カップ	室温		50～1300 mOsm	オズモステーション OM-6060 氷点降下法	可	60分以内	1670 g 10 min 尿	200	プラ試験管 冷蔵	
微量ALB	★	尿	尿カップ	室温		部分尿 30 以下 mg/gCRE	LABOSPECT 008 α 免疫比濁法	可	60分以内	1670 g 10 min 尿	52.8	プラ試験管 冷蔵	
パラコート	★	尿	尿カップ	室温		(-)	用手法 パラコート・ジグワットー斎測定法	可	60分以内	1670 g 10 min 尿	7000	プラ試験管 冷蔵	
β 2MG(尿)	★	部分尿	尿カップ	室温		340 以下 μg/L	LABOSPECT 008 α ラテックス比濁法	当日のみ	60分以内	1670 g 10 min 部分尿	56.7	プラ試験管 凍結	

追加対応：可 採取日を含めて7日間

血液検査1 (問合せ先 : 内線 92075)

2024年12月1日現在

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (mL)	生物学的基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加対応	TAT	遠心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
血算 WBC						3.3 ~ 8.6 10 ³ /μL							
RBC						男性 4.35 ~ 5.55 10 ⁶ /μL 女性 3.86 ~ 4.92 10 ⁶ /μL							
Hb						男性 13.7 ~ 16.8 g/dL 女性 11.6 ~ 14.8 g/dL	XR-3000 XR-2000						
Ht	★	血液	紫	室温	2	男性 40.7 ~ 50.1 % 女性 35.1 ~ 44.4 %	XN-1000 FCM法・電気抵抗法	可 24 時間 以内	30分 以内	遠心なし 全血	0.5 mL	× 冷蔵	凝固検体不可
MCV						83.6 ~ 98.2 fL							
MCH						27.5 ~ 33.2 pg							
MCHC						31.7 ~ 35.3 g/dL							
PLT						158 ~ 348 10 ³ /μL							
血液像 好中球						38.3 ~ 74.7 %							
リンパ球						21.2 ~ 51.0 %	XR-3000 XR-2000						
単球	★	血液	紫	室温	2	2.7 ~ 8.0 %	XN-1000 FCM法・電気抵抗法	可 24 時間 以内	30分 以内	遠心なし 全血	0.5 mL	× 冷蔵	凝固検体不可
好酸球						0.2 ~ 8.4 %							
好塩基球						0.2 ~ 2.0 %							
目視血液像		血液	紫	室温	2		鏡検法 メイギムザ染色	可8 時間 以内		遠心なし 塗抹標本	0.5 mL	× 冷蔵	凝固検体不可
網状赤血球	★	血液	紫	室温	2	8 ~ 22 ‰	XR3000他 FCM法	可4 時間 以内		遠心なし 全血	0.5 mL	× 冷蔵	凝固検体不可
赤血球沈降速度	★	血液	専用採血管	室温	1.1	男 10以下 女 15以下 (60分値) mm	Quick8 westgren法	不可	1時間 以内	遠心なし 全血	1.1 mL	× 冷蔵	採取量厳守 凝固検体不可

血液検査2 （ 問合せ先 ： 内線 92075 ）

2024年12月1日現在

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (mL)	生物学的基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加対応	TAT	遠心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
出血時間		なし				1 ～ 5 分	用手法 Duke法						
プロトロンビン時間	★	血液	黒	室温	1.8	80 ～ 100 %	CS5100 凝固時間法	可 4時間以内	1時間以内	20℃ 2000g 10分 血漿	0.2 mL	×	
APTT	★	血液	黒	室温	1.8	24.0 ～ 34.0 秒	CS5100 凝固時間法			20℃ 2000g 10分 血漿	0.2 mL	×	
フィブリノーゲン	★	血液	黒	室温	1.8	200 ～ 400 mg/dL	CS5100 凝固時間法			20℃ 2000g 10分 血漿	0.2 mL	×	
アンチトロンビン	★	血液	黒	室温	1.8	80 ～ 130 %	CS5100 発色性合成基質法			20℃ 2000g 10分 血漿	0.2 mL	×	
第Ⅲ因子定量		血液	黒	室温	1.8	70 ～ 120 %	CS5100 ラテックス凝集定量法			20℃ 2000g 10分 血漿	0.5 mL	×	夜勤時は凍結保存
混合試験		血液	黒	室温	1.8 × 3本		CS5100 凝固時間法	不可		20℃ 2000g 10分 血漿		×	採取量厳守 凝固検体不可
Dダイマー	★	血液	黒	室温	1.8	1.0以下 μg/mL	CS5100 ラテックス凝集定量法	可 4時間以内	1時間以内	20℃ 2000g 10分 血漿	0.2 mL	×	
FDP	★	血液	黒	室温	1.8	5.0以下 μg/mL	CS5100 ラテックス凝集定量法			20℃ 2000g 10分 血漿	0.2 mL	×	
SFMC	★	血液	黒	室温	1.8	6.1以下 μg/mL	CS5100 ラテックス凝集定量法			20℃ 2000g 10分 血漿	0.2 mL	×	
骨髓検査		骨髓液	紫	室温	0.5		鏡検法	不可		遠心なし 塗抹標本			
ペルオキシダーゼ染色		血液・ 骨髓液	紫	室温	0.5		DAB法	可※1		遠心なし 塗抹標本			
エステラーゼ2重染色		血液・ 骨髓液	紫	室温	0.5		α-NB、ASD法	可※1		遠心なし 塗抹標本			
鉄染色		骨髓液	紫	室温	0.5		ベルリンブルー法	可※1		遠心なし 塗抹標本			
PAS染色		骨髓液	紫	室温	0.5		武藤キット法	可※1		遠心なし 塗抹標本			
血小板凝集能		血液	専用	室温	2本		Verify Now 光透過法	不可		遠心なし 全血			専用採血管
マラリア検査		血液	紫	室温	2	検出せず	メイギムザ染色 鏡検法	可※1		遠心なし 塗抹標本			
フィラリア検査		血液	紫	室温	2	検出せず	メイギムザ染色 鏡検法	可※1		遠心なし 塗抹標本			

追加対応 可 ※1 要電話相談 92075へ

免疫化学検査1 (問合せ先 : 内線 92074)

2024年12月1日現在

内分泌学的検査

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (mL)	参考基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加対応	TAT	通心条件 検査検体種別	必要量 (μ l)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
TSH		血液	青or桃	室温	6	0.50～5.00 μ IU/mL	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	80	× 冷蔵	
F-T3		血液	青or桃	室温	6	2.30～4.30 pg/mL	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	59	× 冷蔵	
F-T4		血液	青or桃	室温	6	0.90～1.70 ng/dL	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	59	× 冷蔵	
LH		血液	青or桃	室温	6	男 2.2～8.4 卵胞期前半 1.4～15 卵胞期後半 1.4～15 卵胞期 8.0～100 黄体期 0.5～15 閉経後 11～50 mIU/mL	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	62	× 冷蔵	
FSH		血液	青or桃	室温	6	男 1.8～12 卵胞期前半 3.0～10 卵胞期後半 3.0～10 卵胞期 5.0～24 黄体期 1.3～6.2 閉経後 26～120 mIU/mL	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	74	× 冷蔵	
プロラクチン		血液	青or桃	室温	6	男 4.29～13.69 閉経前女性 4.91～29.32 閉経後女性 3.12～15.39 ng/mL	cobas prp e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	56	× 冷蔵	
エストラジオール		血液	青or桃	室温	6	男 14.6～48.8 卵胞期 28.8～196.8 排卵期 36.4～525.9 黄体期 44.1～491.9 閉経後 47.0以下 pg/mL	cobas prp e801 ECLIA法	4日間	100分以内	1670 g 10min 血清	65	× 冷蔵	
T- β HCG (血清)	★	血液	青or桃	室温	6	0.2以下 mIU/mL	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	56	× 冷蔵	
抗サイロプロリン抗体		血液	青or桃	室温	6	28以下 IU/mL	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	56	× 冷蔵	
抗TPO抗体		血液	青or桃	室温	6	16以下 IU/mL	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	62	× 冷蔵	
コルチゾール		血液	青or桃	室温	6	午前6時～10時 7.07～19.6 午後4～8時 2.96～9.77 μ g/dL	cobas pro e801 ECLIA法	4日間	100分以内	1670 g 10min 血清	56	× 冷蔵	

追加対応：可 採取日を含めて7日間

免疫化学検査2 (問合せ先 : 内線 92074)

2024年12月1日現在

心筋マーカー検査

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (mL)	参考基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加対応	TAT	遠心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
ミオグロビン	★	血液	青or桃	室温	6	男 154.9以下 女 106.0以下 ng/mL	Alinity CLIA法	72時間以内	100分以内	1670 g 10min 血清	80	× 冷蔵	
BNP	★	血液	黄	氷水	5	18.4以下 pg/mL	Alinity CLIA法	不可	100分以内	1670 g 10min 冷却遠心 血漿	150	/	氷水搬送
トロポニンI定量	★	血液	青or桃	室温	6	30以下 pg/mL	Alinity CLIA法	72時間以内	100分以内	1670 g 10min 血清	210	× 冷蔵	
NT-proBNP	★	血液	青or桃	室温	6	125以下pg/mL 心不全除外カットオフ値	cobas pro e801 ECLIA法	6日間	100分以内	1670 g 10min 血清	59	× 冷蔵	

感染症関連検査

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (mL)	参考基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加対応	TAT	遠心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
HBs抗原	★	血液	茶	室温	7	陰性(0.05未満) IU/mL	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	110	テストチューブ 冷蔵	コンタミ注意
HBs抗体	★	血液	茶	室温	7	陰性(10.0未満) IU/L	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	74	テストチューブ 冷蔵	コンタミ注意
HCV抗体	★	血液	茶	室温	7	陰性(0.90未満) 判定保留(0.90~0.99) 陽性(1.00以上) COI	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	80	テストチューブ 冷蔵	コンタミ注意
HTLV-I抗体		血液	茶	室温	7	陰性(1.00未満) 陽性(1.00以上) COI	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	68	テストチューブ 冷蔵	コンタミ注意 陽性時確認試験推奨
HIV抗体	★	血液	茶	室温	7	陰性(1.00未満) COI	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	110	テストチューブ 冷蔵	コンタミ注意
梅毒脂質抗体	★	血液	茶	室温	7	陰性(1.00未満) R.U.	cobas pro c503 ラテックス比濁法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	64	テストチューブ 冷蔵	凍結検体追加不可
TP抗体	★	血液	茶	室温	7	陰性(10未満) 判定保留(10~20) 陽性(20以上) T.U.	cobas pro c503 ラテックス比濁法	可		1670 g 10min 血清	63	テストチューブ 冷蔵	
プロカルシトニン	★	血液	青or桃	室温	6	0.05以下 ng/mL	Alinity CLIA法	8時間以内	90~120分以内	1670 g 10min 血清	150	× 冷蔵	

血漿蛋白検査

アンモニア	★	血液	赤	氷水	2	男性 27.2~102 女性 18.7~86.9 μg/dL	cobas pro c503 酵素法	不可	100分以内	1670 g 10min 冷却遠心 血漿	62	/	氷水搬送
-------	---	----	---	----	---	--------------------------------------	--------------------	----	--------	----------------------	----	---	------

追加対応：可 採取日を含めて7日間

免疫化学検査3 (問合せ先 : 内線 92074)

2024年12月1日現在

腫瘍関連検査

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (mL)	参考基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加対応	TAT	遠心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
CEA		血液	青or桃	室温	6	5以下 ng/mL	Alinity CLIA法	可	90～120分以内	1670 g 10min 血清	60	× 冷蔵	
AFP		血液	青or桃	室温	6	20以下 ng/mL	Alinity CLIA法	可	90～120分以内	1670 g 10min 血清	75	× 冷蔵	
PIVKA II		血液	青or桃	室温	6	40未満 mAU/mL	Alinity CLIA法	可	90～120分以内	1670 g 10min 血清	80	× 冷蔵	
T-PSA		血液	青or桃	室温	6	4以下 ng/mL	Alinity CLIA法	可	90～120分以内	1670 g 10min 血清	100	× 冷蔵	
F-PSA		血液	青or桃	室温	6		Alinity CLIA法	可	90～120分以内	1670 g 10min 血清	140	× 冷蔵	
F/P比						0.26以下					** *		
CA19-9		血液	青or桃	室温	6	37以下 U/mL	Alinity CLIA法	可	90～120分以内	1670 g 10min 血清	80	× 冷蔵	
CA125		血液	青or桃	室温	6	35以下 U/mL	Alinity CLIA法	可	90～120分以内	1670 g 10min 血清	75	× 冷蔵	
CA15-3		血液	青or桃	室温	6	30以下 U/mL	Alinity CLIA法	可	90～120分以内	1670 g 10min 血清	70	× 冷蔵	
SCC		血液	青or桃	室温	6	1.5以下 ng/mL	Alinity CLIA法	可	90～120分以内	1670 g 10min 血清	75	× 冷蔵	

追加対応：可 採取日を含めて7日間

免疫化学検査4 (問合せ先 : 内線 92074)

2024年12月1日現在

薬物検査

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (mL)	有効治療濃度域 単位	測定機器 検査方法	追加対応	TAT	通心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
フェノバルビタール		血液	茶	室温	7	トラフ値 15~40 μg/mL	cobas pro c503 KIMS法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	55	× 冷蔵	
フェニトイン		血液	茶	室温	7	トラフ値 7~20 μg/mL	cobas pro c503 KIMS法	4日間	100分以内	1670 g 10min 血清	55	× 冷蔵	
カルバマゼピン		血液	茶	室温	7	トラフ値 4~12 μg/mL	cobas pro c503 KIMS法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	55	× 冷蔵	
バルプロ酸		血液	茶	室温	7	トラフ値 50~100 μg/mL	cobas pro c503 HEIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	55	× 冷蔵	
テオフィリン	★	血液	茶	室温	7	トラフ値 10~20 μg/mL	cobas pro c503 KIMS法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	55	× 冷蔵	
ジゴキシン		血液	茶	室温	7	トラフ値 0.5~1.5 ng/mL	cobas pro c503 KIMS法	4日間	100分以内	1670 g 10min 血清	55	× 冷蔵	
ゲンタマイシン		血液	茶	室温	7	ピーク値 10~20 トラフ値 1未満 μg/mL	cobas pro c503 HEIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	55	× 冷蔵	
バンコマイシン		血液	茶	室温	7	トラフ値 10~20 μg/mL	cobas pro c503 KIMS法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	55	× 冷蔵	
アセトアミノフェン	★	血液	茶	室温	7	μg/mL	cobas pro c503 HEIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	55	× 冷蔵	
エタノール	★	血液	茶	室温	7	mg/dL	cobas pro c503 - 酵素法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	55	× 冷蔵	エタノール消毒をしていない ければ追加可
リチウム	★	血液	茶	室温	7	トラフ値 0.4~1.0 mEq/L	cobas pro c503 比色定量法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	55	× 冷蔵	
シクロスポリン		血液	紫	室温	2	トラフ値 150~250 ng/mL	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	× 全血	600	× 冷蔵	
タクロリムス		血液	紫	室温	2	トラフ値 5~20 ng/mL	cobas pro e801 ECLIA法	可	100分以内	× 全血	600	× 冷蔵	
メトトレキサート		血液	茶	室温	7	24時間後 10未満 48時間後 1.0未満 72時間後 0.1未満 μmol/L	cobas pro c503 HEIA法	可	100分以内	1670 g 10min 血清	55	× 冷蔵	
尿薬物スクリーニング	★	尿	尿カップ	室温	15	陰性	用手法 競合イムノクロマト法	可	60分以内	部分尿	500	ガラス試験管 プラスチック試験管 凍結	* ガラス・プラスチック試験管に入れ 80℃凍結保存 1年間

追加対応：可 採取日を含めて7日間

免疫検査（問合せ先：内線 92077）

2024年12月1日現在

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (mL)	生物学的基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加対応	TAT	運心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
総IgE定量検査		血液	茶	室温	7	1歳未満:20以下 1〜3歳 :30以下 4〜6歳 :110以下 7歳以上:170以下	Phadia250 FEIA法	可	3時間以内 (月・水・金測定)	1670 g 10 min 血清	0.3ml	テストチューブ 冷蔵	
特異的IgE抗体検査 (CAP RAST)		血液	茶	室温	7	IU/ml	Phadia250 FEIA法	可	3時間以内 (月・水・金測定)	1670 g 10 min 血清	項目数×1 × 40μl	テストチューブ 冷蔵	
抗dsDNA抗体		血液	茶	室温	7	12以下 IU/ml	Phadia250 EIA法	可	3時間以内 (火・木測定)	1670 g 10 min 血清	0.3ml	テストチューブ 冷蔵	
クリオグロブリン定性検査		血液	茶	37℃	7	(-)	寒冷沈殿法	不可	72時間値で報告	07℃ 1670 g 10 min 血清	0.3ml	ガラス 保管不可	
血液粘稠度		血液	茶	37℃	7	1.4〜1.8	オズワルド法	不可	3時間以内	07℃ 1670 g 10 min 血清	50ml	ガラス 保管不可	
寒冷凝集試験		血液	茶	室温	7	64倍以下	赤血球凝集反応	分取済みなら可	24時間値で報告	1670 g 10 min 血清	0.25ml	テストチューブ 冷蔵	
HIV-PCR定量検査		血液	専用採血管 (EDTA・2K)	室温	8		cobas 5800 PCR法	不可	1週間以内	1670 g 20 min 血漿	1.0ml×2	セラムチューブ 凍結	
HCV-RNA定量検査		血液	茶	室温	7		cobas 5800 PCR法	不可	1週間以内	1670 g 20 min 血清	650 μL	クライオチューブ 凍結	
HBV-DNA定量検査		血液	茶	室温	7		cobas 5800 PCR法	不可	1週間以内	1670 g 20 min 血清	650 μL	クライオチューブ 凍結	2024.4より測定開始
リンパ球サブセット		血液	緑	室温	5		FACS Lyric フローサイトメトリー法	不可	3時間以内	全血	50ml	1日のみ室温	固定時は翌日測定
造血器悪性腫瘍細胞検査		血液	緑	室温			FACS Lyric フローサイトメトリー法	不可	3時間以内	全血		保存不可	
AIH		精液	滅菌容器	室温			swim up法	不可		精液		保存不可	
RNA抽出		血液	緑	室温	5			不可		全血	50ml×3本	保存不可	
メモリーCD4		血液	緑	室温	5			不可		全血	50ml×3本	保存不可	
TNF		血液	茶	室温	7			不可		1670 g 10 min 血清	2本(等量)	セラムチューブ 凍結	
膠原病		血液	茶	室温	7			不可		1670 g 10 min 血清	2本(等量)	セラムチューブ 凍結	
喘息		血液	茶	室温	7			不可		1670 g 10 min 血清	2本(等量)	セラムチューブ 凍結	
Treg		血液	緑	室温	5		FACS Lyric フローサイトメトリー法	不可		全血	50ml×3本	保存不可	
8カラー		血液	緑	室温	5		FACS Lyric フローサイトメトリー法	不可		全血	50ml×1本	保存不可	
コロナ抗原定量 (SARS-COV-2Ag)		鼻咽頭・鼻腔ぬぐい液	ドライスワブ	室温			ルミバルスG1200Plus 化学発光酵素免疫測定法	不可	1時間以内	スワブ		冷蔵保存	

追加対応 可：採取日含めて7日間

一般検査1 (問合せ先 : 内線 92260)

2024年12月1日現在

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (mL)	生物学的基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加対応	TAT	運心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
尿中一般物質定性半定量検査	★	尿	尿カップ	室温			AX-4060、AX-4020	採尿後4時間以内	60分以内	尿	1mL	KR/リユーパルク沈渣PSオートチューブ冷蔵	
蛋白						—	蛋白誤差法						
糖						—	グルコースオキシダーゼ法						
ビリルビン						—	アゾカップリング法						
ウロビリノーゲン						±	アゾカップリング法						
ケトン体						—	ニトロプルシドナトリウム法						
比重						1.005～1.045	反射型屈折率測定法 陽イオン抽出法						
潜血						—	ヘモグロビン接触活性化法						
白血球反応						—	白血球エステラーゼ活性法						
亜硝酸塩						—	グリース法						
pH						5.0～8.0	pH指示薬法						
尿沈渣 赤血球	★	尿	尿カップ	室温		4以下 /HPF	UF-1000i、用手法 鏡検法	採尿後4時間以内	60分以内	500G 5min 尿	10mL未満は参考値	KR/リユーパルク沈渣	赤血球形態は平日日勤時かつ、赤血球が5-9/HPF以上の時に報告する
白血球						4以下 /HPF							
※その他													その他成分は観察されたものを報告
尿蛋白	★	尿	尿カップ	室温		10以下 mg/dL	LABOSPECT008 α ピロガロールレッドモリブデン鹽 体発色法	当日中	60分以内	1670G 10min 尿	2mL	プラ試験管 冷蔵	
尿グルコース	★	尿	尿カップ	室温		20以下 mg/dL	LABOSPECT008 α ヘキシキナーゼ法	不可	60分以内	1670G 10min 尿	2mL	プラ試験管 冷蔵	
妊娠反応	★	尿	尿カップ	室温			イムノクロマト法	※	60分以内	尿	1mL	プラ試験管 冷蔵	
髄液一般検査	★	髄液	滅菌スピッツ	室温					60分以内				
細胞数						5以下 /μL	XN or XR 機械法 鏡検法	1時間以内	60分以内	髄液	1mL	テストチューブ 冷蔵	新生児・乳児では年齢により変動
細胞種類						主にリンパ球 %	XN or XR 機械法 鏡検法	1時間以内	60分以内	髄液	1mL	テストチューブ 冷蔵	

※元検体の保管期間中であれば追加可能

一般検査2

(問合せ先 : 内線 92260)

2024年12月1日現在

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (mL)	生物学的基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加対応	TAT	遠心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
蛋白定量(髄液)	★	髄液	滅菌スピッツ	室温		10～50 mg/dL	LABOSPECT008 α ピロガロールレッドモリ ブデン錯体発色法	当日中	60分以内	1670G 10min 髄液	1mL	プラ試験管 冷蔵	新生児・小児では 年齢により変動
糖定量(髄液)	★	髄液	滅菌スピッツ	室温		50～80 mg/dL	LABOSPECT008 α ヘキソキナーゼ法	不可	60分以内	1670G 10min 髄液	1mL	プラ試験管 冷蔵	血糖値の60～ 80%
穿刺液検査 細胞数	★	穿刺液 (胸水・腹水・心 のう液等)	滅菌 スピッツ	室温		/ μ L	XN or XR 機械法 鏡検法	3時 間以 内	120分 以内	穿刺液	1mL	テスト チューブ 冷蔵	
細胞種類						%	XN or XR 機械法 鏡検法	3時 間以 内	120分 以内	穿刺液	1mL	テスト チューブ 冷蔵	
比重							目視法	※	120分 以内	穿刺液	1mL	×	
pH	★		ヘパリン 添加 シリンジ	室温			RAPID Lab 1265 電極法	不可	120分 以内	穿刺液	0.5mL	×	
関節液結晶		関節液	分解酵 素入り スピッツ	室温		—	鏡検法	2日 以内	120分 以内	関節液	2mL	×	
CAPD排液検査	★	CAPD排 液	滅菌ス ピッツ	室温					60分 以内				
細胞数						/ μ L	XN or XR 機械法 鏡検法	3時 間以 内	60分 以内	穿刺液	1mL	テスト チューブ	
細胞種類						%	XN or XR 機械法 鏡検法	3時 間以 内	60分 以内	穿刺液	1mL	テスト チューブ	
羊水検査	★	羊水	滅菌ス ピッツ	室温					60分 以内				
白血球数						/ μ L	鏡検法	3時 間以 内	60分 以内	穿刺液	1mL	テスト チューブ	
白血球分画						%	鏡検法	3時 間以 内	60分 以内	穿刺液	1mL	テスト チューブ	
精液一般検査		精液	滅菌 カップ	室温					60分 以内				
精液量						2以上 mL	目視法	2時 間以 内		精液		滅菌スピ ッツ 冷蔵	
精子数						2000以上 万/mL	鏡検法	2時 間以 内		精液	0.5mL	テスト チューブ	
運動率						50以上 %	鏡検法	2時 間以 内		精液	0.5mL	テスト チューブ	
奇形率						85以下 %	鏡検法	2時 間以 内		精液	0.5mL	テスト チューブ	
便潜血		便	便潜血 専用容 器	室温			OC sensor io 免疫比濁法	要 相 談	120分 以内	便	採取棒 の溝が 埋まるぐ らい	冷蔵	専用容器のため、追加対応は 要相談
便潜血定性						—							
便潜血定量						50以下 ng/mL							

※元検体の保管期間中であれば追加可能

一般検査3 (問合せ先 : 内線 92060)

2024年12月1日現在

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (mL)	生物学的基準範囲 単位	測定機器 検査方法	追加対応	TAT	過心条件 検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器 検査科保管方法	注意点・その他
虫卵検出		便	採便容器	室温				※	180分以内	便	拇指頭大	冷蔵	
直接法						—	鏡検法						
MGL法						—	鏡検法						
浮遊法						—	鏡検法						
セロテープ法		便	専用テープ	室温		—	鏡検法	不可	180分以内	便			早朝採取 2日間分
虫体同定		便(虫体)	採便容器等	室温		—	目視法、鏡検法	※	180分以内	便(虫体)	拇指頭大	冷蔵	虫卵が付着している可能性があるため、虫体は洗浄せずに提出
原虫検査		便	採便容器	室温		—	鏡検法	※	180分以内	便	拇指頭大	冷蔵	便中の赤痢アメーバを検出したい場合は、採取前にご連絡ください
便中白血球		便	採便容器	室温		—	鏡検法	不可	180分以内	便	拇指頭大	冷蔵	時間外禁
便中好酸球		便	採便容器	室温		—	鏡検法	不可	180分以内	便	拇指頭大	冷蔵	時間外禁
便中脂肪		便	採便容器	室温		—	鏡検法	※	180分以内	便	拇指頭大	冷蔵	
赤痢アメーバ		便・組織	滅菌スピッツ 採便容器	37℃		—	鏡検法	不可	60分以内	便・組織		冷蔵	提出前に一般検査室へ連絡
インフルエンザ抗原定性	★	鼻腔ぬぐい液・鼻汁	滅菌綿棒・滅菌スピッツ	室温		—	イムノクロマト法	1時間以内	30分以内	鼻腔ぬぐい液・鼻汁		冷蔵	元検体が鼻汁の場合のみ追加可能
RSウイルス抗原定性	★	鼻腔ぬぐい液・鼻汁	滅菌綿棒・滅菌スピッツ	室温		—	イムノクロマト法	1時間以内	30分以内	鼻腔ぬぐい液・鼻汁		冷蔵	元検体が鼻汁の場合のみ追加可能
ヒトメタニューモウイルス抗原定性	★	鼻腔ぬぐい液・鼻汁	滅菌綿棒・滅菌スピッツ	室温		—	イムノクロマト法	1時間以内	30分以内	鼻腔ぬぐい液・鼻汁		冷蔵	元検体が鼻汁の場合のみ追加可能
アデノウイルス抗原定性	★	咽頭ぬぐい液・鼻腔ぬぐい液・鼻汁	滅菌綿棒・滅菌スピッツ	室温		—	イムノクロマト法	1時間以内	30分以内	咽頭ぬぐい液・鼻腔ぬぐい液・鼻汁		冷蔵	元検体が鼻汁の場合のみ追加可能
A群β溶連菌迅速試験定性	★	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒	室温		—	イムノクロマト法	不可	30分以内	咽頭ぬぐい液		冷蔵	
マイコプラズマ抗原定性	★	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒	室温		—	イムノクロマト法	不可	30分以内	咽頭ぬぐい液		冷蔵	
ロタ・アデノウイルス抗原定性	★	便	滅菌綿棒	室温		—	イムノクロマト法	不可	30分以内	便		冷蔵	
肺炎球菌莢膜抗原定性	★	尿・髄液	尿カップ・滅菌スピッツ	室温		—	イムノクロマト法	※	30分以内	尿・髄液		冷蔵	
レジオネラ抗原定性	★	尿	尿カップ	室温		—	イムノクロマト法	※	30分以内	尿		冷蔵	
SARS-CoV2抗原検出(定性)	★	鼻腔ぬぐい液	滅菌綿棒	室温		—	イムノクロマト法	不可	30分以内	鼻腔ぬぐい液		冷蔵	

※元検体の保管期間中であれば追加可能

輸血検査（問合せ先：内線 92080）

2024年12月1日現在

検査項目	夜間休日	検体種別	採取容器	搬送条件	採血管容量 (ml)	生物学的基準範囲単位	測定機器検査方法	追加対応	TAT	遠心条件検査検体種別	必要量 (μl)	分取容器検査科保管方法	注意点・その他
ABO式血液型	★	血液	黄	室温	7	A・B・O・AB他	IH-1000 ゲルカラム法	可※1	60分以内	1670 g 10 min 血漿・血漿 血球:0.1ml	血漿:0.6ml 血球:0.1ml	冷蔵	
ABO式血液型精密検査	◎	血液	黄	室温	7			可※1		1670 g 10 min 血球・血漿		プラスチック管 冷蔵	
吸収解離試験		血液	黄	室温				可※1		1670 g 10 min 血球	血球:1.0ml	プラスチック管 冷蔵	
唾液中和試験		唾液	滅菌スピッツ	室温				不可		唾液		保存不可	
A・B型転移酵素活性測定		血液	黄	室温			赤血球凝集反応	可※1		1670 g 10 min 血漿	血漿:0.6ml	プラスチック管 凍結	
血清中A・B型物質検出法		血液	黄	室温				可※1		1670 g 10 min 血漿		プラスチック管 冷蔵	
Rh式血液型	★	血液	黄	室温	7	陽性・陰性・D ^u	IH-1000 ゲルカラム法	可※1	60分以内	1670 g 10 min 血球	血球:0.1ml	冷蔵	
D陰性確認試験	★	血液	黄	室温			赤血球凝集反応	可※1		1670 g 10 min 血球	血球:0.1ml	プラスチック管 冷蔵	
Rh他因子検索		血液	黄	室温			赤血球凝集反応			室温 血球	血球:0.1ml	プラスチック管	
不規則抗体検査	★	血液	黄	室温	7	—	IH-1000 ゲルカラム法	可※1	60分以内	1670 g 10 min 血漿	血漿:0.6ml	冷蔵	
不規則抗体精密検査	◎	血液	黄	室温				可※1		1670 g 10 min 血漿		プラスチック管 冷蔵	
不規則抗体同定法							赤血球凝集反応						
抗原タイピング							赤血球凝集反応						
抗体価測定		血液	黄	室温	7		赤血球凝集反応	可※1		1670 g 10 min 血漿	血漿:0.6ml	プラスチック管 冷蔵	
間接クームス試験	★	血液	黄	室温	7	—	IH-1000 ゲルカラム法	可※1	60分以内	1670 g 10 min 血球・血漿	血漿:0.6ml	冷蔵	
直接クームス試験	★	血液	黄	室温	7	—	赤血球凝集反応	可※1	60分以内	1670 g 10 min 血球	血球:0.1ml	プラスチック管 冷蔵	
解離試験		血液	黄	室温				可※1		1670 g 10 min 血球		プラスチック管 冷蔵	
クエン酸解離試験											血球:1.0ml		
ルイ凍結解離法											血球:1.0ml		
交叉適合試験	★	血液	黄	室温	7	適合	IH-1000 ゲルカラム法	不可		1670 g 10 min 血球・血漿		冷蔵	
輸血副作用検査	◎	血液	黄	室温	7			不可		1670 g 10 min 血球・血漿		プラスチック管 至急対応	

◎時間外の場合、輸血待機者対応 追加対応 可※1 要電話相談 92080へ

細菌検査 (問合せ先 : 内線 92083)

2024年12月1日現在

検査項目	採取容器	搬送条件	測定原理	使用機器	対象菌	培養日数	生物学的基準範囲	追加対応	検査科検体保存方法
排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査									
グラム染色	滅菌容器	室温	ハッカー変法		一般細菌		該当なし	○※ ³	2～8℃
抗酸菌染色	滅菌容器	室温	チールネルゼン染色		抗酸菌		陰性	○※ ³	2～8℃
クリプトコッカス染色	滅菌容器	室温	墨汁染色		Cryptococcus neoformans		陰性	○※ ³	2～8℃
抗原検査									
クリストリジオイデス・ディフィシル抗原定性	嫌気ポーター	室温	イムノクロマト法		Clostridioides difficile		陰性	○※ ³	2～8℃
毒素検査									
大腸菌ベロトキシン定性	滅菌容器	室温	逆受身アックス凝集反応		Escherichia coli		陰性	○※ ³	2～8℃
細菌培養検査									
口腔・気道・呼吸器	滅菌容器	室温	培養法	孵卵器	一般細菌	2日以上	該当なし	○※ ³	2～8℃※ ¹
	滅菌容器	室温		BACTEC MGIT960	抗酸菌	6週間	菌発育なし	○※ ³	2～8℃※ ¹
泌尿器・生殖器	滅菌容器	室温	培養法	孵卵器	一般細菌	2日以上	該当なし	○※ ³	2～8℃※ ¹
	滅菌容器	室温		BACTEC MGIT960	抗酸菌	6週間	菌発育なし	○※ ³	2～8℃※ ¹
消化器	滅菌容器	室温	培養法	孵卵器	一般細菌	2日以上	該当なし	○※ ³	2～8℃※ ¹
	滅菌容器	室温		BACTEC MGIT960	抗酸菌	6週間	菌発育なし	○※ ³	2～8℃※ ¹
血液	滅菌容器	室温	培養法	BACTEC FX	一般細菌	5日以上	菌発育なし	×	
	滅菌容器	室温		BACTEC FX40	抗酸菌	6週間	菌発育なし	×	
髄液	滅菌容器	室温	培養法	孵卵器	一般細菌	2日以上	菌発育なし	○※ ³	33～37℃ (培養前) → 2～8℃ (培養後) ※ ¹
	滅菌容器	室温		BACTEC MGIT960	抗酸菌	6週間	菌発育なし	○※ ³	33～37℃ (培養前) → 2～8℃ (培養後) ※ ¹
穿刺液	滅菌容器	室温	培養法	孵卵器	一般細菌	2日以上	菌発育なし	○※ ³	2～8℃※ ²
	滅菌容器	室温		BACTEC MGIT960	抗酸菌	6週間	菌発育なし	○※ ³	2～8℃※ ¹
その他	滅菌容器	室温	培養法	孵卵器	一般細菌	2日以上	該当なし	○※ ³	2～8℃※ ¹
	滅菌容器	室温		BACTEC MGIT960	抗酸菌	6週間	菌発育なし	○※ ³	2～8℃※ ¹
GBS検査	GBS選択培地	室温	選択培地平板法	孵卵器	Streptococcus agalactiae	2日以上	該当なし	×	
細菌同定検査									
一般細菌	滅菌容器	室温	比色・蛍光法/質量分析	BDフェニックス M50/microflex LT	一般細菌			○※ ³	
抗酸菌	滅菌容器	室温	質量分析	microflexLT	抗酸菌			○※ ³	
結核菌群核酸検出	滅菌容器	室温	遺伝子増幅法	Loopamp EXIA	Mycobacterium tuberculosis complex			○※ ³	
大腸菌血清型別			抗原抗体反応		病原大腸菌		凝集なし		
細菌薬剤感受性試験									
細菌薬剤感受性試験	滅菌容器	室温	微量液体希釈法	BDフェニックス M50	一般細菌	12～48時間		○※ ³	
抗酸菌薬剤感受性試験	滅菌容器	室温	一濃度比率法/微量液体希釈法		結核菌群/非定型抗酸菌	3日～14日		○※ ³	

※1低温で死滅する菌を目的菌とする場合は孵卵器保存
※2血液培養は直ちに専用機器へ。低温で死滅する菌を目的菌とする場合は孵卵器保存

※3要電話相談

心電図検査室検査項目一覧

心電図1

2024年12月1日現在

検査項目		使用機種	評価項目	生物学的基準範囲	TAT	その他
1	心電図検査	心電計ECG-1500 心電計ECG-2550	P波	I II aVFV1-V6で陽性、aVRで陰性	30分以内	
			P波 幅	0.11 秒未満		
			P波 高さ	2.5 mm未満		
			PQ間隔	$0.12 \leq PQ \leq 0.2$ 秒		
			QRS 幅	$0.06 \leq QRS \leq 0.10$ 秒		
			QRS 大きさ 肢誘導	>5 mm		
			QRS 大きさ 胸部誘導	>10 mm		
			QRS RV1	7 mm未満		
			QRS RV5+RV6	26 mm未満		
			QRS SV1+RV5	35 mm未満		
			QRS 軸	-30<QRS軸<110 °		
			移行帯	V3~V4誘導		
			修正QT間隔(QTc)	$0.36 < QTc \leq 0.44$ 秒		
			ST	基線と一致 $\leq ST \leq 2$ mm		
			T 高さ 肢誘導	<5 mm		
			T 高さ 胸部誘導	<10 mm		
			U	基線と一致 $\leq ST < 2$ mm		
			心拍数	60~100(ミネソタコード上は50~100) /分		
2	R-R間隔検査	心電計ECG-1500 心電計ECG-2550			30分以内	
3	心臓超音波検査	超音波画像診断装置VividE95 超音波画像診断装置EPIQ CVx 超音波画像診断装置VividE9 超音波画像診断装置EPIQ7 超音波画像診断装置Aplio-i800	大動脈弁輪形	男性16~28、女性16~24 mm	60分以内 (後日診察時 1日~2日)	
			バルサルバ洞径	男性23~39、女性22~34 mm		
			心室中隔厚	男性7~11、女性6~10 mm		
			左室後壁厚	男性7~11、女性6~10 mm		
			左室拡張末期径	男性40~56、女性38~50 mm		
			左室収縮末期径	男性22~38、女性22~34 mm		
			左室拡張末期径/BSA	男性23~31、女性26~34 mm/m ²		
			左室収縮末期径/BSA	男性13~21、女性14~22 mm/m ²		
			左室拡張末期容積	男性53~133、女性40~108 ml		
			左室収縮末期容積	男性14~52、女性11~39 ml		
			左室拡張末期容積/BSA	男性31~75、女性27~71 ml/m ²		
			左室収縮末期容積/BSA	男性9~29、女性7~27 ml/m ²		
			左室駆出率	男性57~74、女性56~76 %		
			右室拡張末期径(四腔断面・中部)	男性21~41、女性18~38 mm		
			右室拡張末期面積	男性8~24、女性7~19 cm ²		
			右室収縮末期面積	男性3~15、女性3~11 cm ²		
			右室面積変化率	男性18~70、女性24~68 %		
			左房径(傍胸骨長軸断面)	男性24~40、女性25~37 mm		
			最大左房容積/BSA	男性10~38、女性9~41 ml/m ²		
			右房短径(四腔断面)	男性24~44、女性21~41 mm		
			右房長径(四腔断面)	男性33~75、女性30~54 mm		

心電図2

2024年12月1日現在

検 査 項 目		使用機種	評価項目	生物学的基準範囲		TAT	その他
4	トレッドミル負荷心電図検査	運動負荷心電図測定装置STS-2100		ST変化なし		60分以内	
5	24時間ホルター心電図検査	ホルターレコーダーRAC-2103 ホルターレコーダーRAC-3103 ホルターレコーダーRAC-5103 ホルター心電図解析装置DSC-3200				2日	取り付け/解析
6	24時間自動血圧	更新申請中 機器導入後検査再開予定				2日	取り付け/解析
7	ABI・PWV検査	血圧脈波検査装置FORM-5	ABI	$0.91 \leq \text{ABI} \leq 1.40$		30分以内	
8	負荷ABI検査	血圧脈波検査装置FORM-5 末梢動脈疾患検査用ABI負荷装置				60分以内	
9	late potential	心電計ECG-2550	Total QRS duration	≤ 114	msec	60分以内	
10 血管超音波検査		超音波画像診断装置EPIQ CVx 超音波画像診断装置VividE95 超音波画像診断装置EPIQ7 超音波画像診断装置Aplio-i800	RMS40	≥ 20	μV		
			LAS40	≤ 38	msec		
			IMTの厚さ	1.0以下	mm	60分～120分	
				狭窄なし、閉塞なし		(後日診察時 1日～2日)	
				血栓なし			
			PSV	180	cm/s未満		
11	携帯型発作時心電図	発作時心電図記録器Spider Flash	RAR	3.5	以下		返却日不定
12	心音図	心機図検査装置MES1000PC				60分以内	
13	SPP・PVR	皮膚灌流圧測定器PAD3000 皮膚灌流圧測定器PAD4000				60～120分	
14	心臓超音波経食道法	超音波画像診断装置EPIQ CVx 超音波画像診断装置EPIQ7 超音波画像診断装置Aplio-i800 超音波画像診断装置VividE95				1日～60分	医師施行
15	心筋スペクト	心筋スペクト薬剤負荷	心電計ECG-2450			30分以内	心電図結果のみ
		心筋スペクト運動負荷				40分以内	心電図結果のみ

呼吸機能検査室検査項目一覧

呼吸機能検査室

(問合せ先 : 内線 92007・92008)

2024年12月1日現在

	検 査 項 目		使用機器	評価項目	生物学的基準範囲	その他	TAT
1	スクリーニング検査	肺活量(VC)	SYSTEM21 SYSTEM7w	%VC	80%以上		30分以内
		努力性肺活量(FVC)		%FVC	80%以上		
				%FEV1%	70%以上		
				V50/V25	3未満		
				ATI	5%以下		
2	呼気NO検査	呼気一酸化窒素(NO)	ナイオックス VERO	NO	約15ppb (正常上限値約37ppb)		30分以内
3	精密検査	最大換気量(MVV)	SYSTEM21	%MVV	80%以上	酸素吸入患者は医師に 確認後検査 実施する。 CO2ナルコー シスになる可 能性のある患 者は検査不 可。SpO2が 90%以下の 場合は医師 立ち合いの 下検査実施。	60分以内 (後日診察 時1～2日)
		クロージングボリューム(CV)		△IN2	1.5%以下		
		機能的残気量(FRC)		%RV/TLC	25～40%		
		肺拡散能(DLco)		%DLco	80%以上		
				%DLco'	80%以上		
				%DLco/VA	80%以上		
		呼吸抵抗(Rrs)	マスタースクリーンIOS	R5	R5予測値の150%以下		30分以内
				R20	R20予測値の150%以下		
				X5	(X5予測値-0.15)が以上		
4	鼻腔通気度	鼻腔通気度	鼻腔通気度計 MPR-3100	Δ P 100Pa	0.25Pa/cm ³ /s未満		30分以内
5	時間内歩行	6分間歩行試験(6MWT)		6MWD			60分以内
6	心肺運動負荷試験	心肺運動負荷試験(CPX)	心肺運動負荷システム AE-100i	peak VO2	予測式の80%以上		60分以内
7	気道可逆性試験	気道可逆性試験	SYSTEM21 SYSTEM7w	FEV1	改善量≧200mLかつ 改善率≧12%で陽性		60分以内
8	酸素消費量	酸素消費量(VO2)	心肺運動負荷システム AE-100i	VO2		病棟患者のみ	60分以内
9	喘息運動負荷試験	喘息運動負荷試験	SYSTEM21 SYSTEM7w STS-2100	FEV1			60分以内

脳波検査室検査項目一覧
脳波検査室

(問い合わせ先：内線92002)

2024年12月1日現在

	種別	検査項目		使用機種	生物学的基準範囲	TAT	注意点・その他
1	脳波検査	脳波	脳波	脳波計 EEG1218		60	
			出張脳波	脳波計 EEG1214		30	
2	誘発電位検査	聴性誘発電位	ABR	筋電図誘発電位検査装置 MEB2306		30	90dB
			ABR閾値			120	クリック音
			小児ABR閾値			180	導眠による睡眠から
			AABR(新生児)	ネイタスアルゴ5		10	35dB 病棟施行
		体性感覚誘発電位	上肢SEP	筋電図誘発電位検査装置 MEB2306		30	
			上肢SSEP			60	
			下肢SEP			90	
		視覚誘発電位	VEP			40	
3	筋電図検査	針筋電図	針筋電図	筋電図誘発電位検査装置 MEB2306			医師施行
		表面筋電図	表面筋電図			40～60	
		誘発筋電図	神経伝導速度			60～120	5～10分/1神経
			神経伝導速度+F波			60～120	5～10分/1神経
			反復刺激			30	5分/1神経
			瞬目反射			30	
			顔面ENoG			30	顔面神経麻痺
			顔面AMR			30	顔面痙攣
4	平衡機能検査	電気眼振図	標準検査	眼振計 NY50		120	
			電気眼振図(ENG)				
			視標追跡				
			視運動眼振				
			頭位・頭位変換眼振				
			温度眼振				医師施行
		重心動揺	重心動揺	下肢加重計 GP6000		30	
5	睡眠ポリグラフ検査	簡易睡眠ポリグラフ	簡易PSG	スマートウォッチ PMP300		1～2日	説明/解析
		終夜睡眠ポリグラフ	終夜PSG	ソムノスクリーンBTシステム		14日	取り付け/解析
6	熱画像検査	サーモグラフィー	サーモグラフ	インフラアイ 3000		40～60	
7	自律神経機能検査	交感神経皮膚反応	SSR	筋電図誘発電位検査装置 MEB2306		40～60	
8	モニタリング検査	モニタリング	脳波	脳波計 EEG1214			
			ABR	筋電図誘発電位検査装置 MEB2306			
			SEP				
			MEP				皮質刺激 経頭蓋刺激
			顔面AMR				顔面痙攣
			顔面神経刺激				

超音波検査室検査項目一覧

超音波検査室1

2024年12月1日現在

	検 査 項 目	観察臓器	評価項目		生物学的基準範囲		その他(注 意事項)	使用機種	TAT	
1	腹部超音波	肝臓	大きさ	左葉上下径	85.1±15.8	mm		超音波画像診断 装置 Apilio500 LOGIQE10 LOGIQE9 LOGIQE8 Fortis	検査開始 から60分以内 (後日診察時 1日～2日)	
				左葉前後径	54.2±9.5	mm				
				右葉上下径	124±18	mm				
		胆嚢	大きさ	長径	62.3±10.3	mm	食後収縮あり			
				短径	20.3±10.3	mm				
				壁の厚さ		3以下				mm
		胆管	肝内胆管径		併走する 門脈径以下		mm			
			肝外胆管径		7以下		mm			胆摘後は 11mm未満基
		膵臓	縦断像の厚み	頭部	21.6±4.3	mm	食後で描出 不良のことあり			
				体部	13.7±3.3	mm				
				尾部	19.1±3.8	mm				
				膵管径		1.3±0.8				mm
		脾臓	Spleen index(千葉大第一内科)		20以下		cm ²			
			長径		83.6±10.6		mm			
		腎臓	大きさ	右腎長径	102.2±9.6	mm				
				左腎長径	106.3±9.8	mm				
		消化管	胃壁の厚さ		5以下		mm			蠕動で厚さ 変化あり 境界域のこと あり
			小腸壁の厚さ		4以下		mm			
			結腸壁の厚さ		4以下		mm			
		虫垂	短径		5以下		mm			
		前立腺	大きさ	左右径	48.1±4.0	mm	排尿で描出 不良のことあり			
				前後径	27.1±3.8	mm				
				上下径	28.0±5.2	mm				
		子宮	大きさ	長径	7	mm	月経周期で変 化あり 排尿で描出不 良のことあり			
				左右径	4	mm				

超音波検査室2

2024年12月1日現在									
	検査項目		観察機器	評価項目		生物学的基準範囲		その他(注意事項)	使用機種
2	腎動脈超音波		腎臓	腎臓の大きさ、左右差				食後で描出不良のことあり	LOGIQE10 LOGIQE9 LOGIQE8 Fortis
				腎動脈(起始部、区域、葉間)					
3	血管超音波	頸動脈	CCA, ICA, VA	総頸動脈IMT		1.0以下	mm		
		頸静脈	内頸静脈	血管壁肥厚の有無、血栓の有無				カテーテル感染の有無が目的	
		側頭動脈	浅側頭動脈	巨細胞血管炎の有無					
		透析血管	表在化動脈	体表からの深さ、走行、血管径、血流、周囲観察					
			シャント血管	血管走行、血流、周辺観察					
4	体表	上腕静脈	穿刺部の血管	静脈炎の有無(穿刺部位同定できる場合のみ)				クローズ予約(電話連絡必須)	
		甲状腺	甲状腺	左右葉の大きさ	横径	1~2	cm		
					縦径	4~5	cm		
					厚み	1~2	cm		
			リンパ節	甲状腺周囲のリンパ節					
		副甲状腺	副甲状腺と甲状腺						
		耳下腺	耳下腺と周囲リンパ節						
		顎下腺	顎下腺と周囲リンパ節						
		リンパ節	リンパ節	腫脹部位(観察部位の指示必要)				形状・構造で判断する	
		乳腺	乳腺と周囲リンパ節						
5	特殊 (医師施行)	皮膚科領域	皮膚、皮下、軟部臓器	病変部位(観察部位の指示必要)					Aplio500 専門医師へ依頼必要 消化器病棟にて対応
			アキレス腱エコー	家族性高脂血症疑いのみ(循環器内科医専用)					
		造影超音波	肝臓	肝臓と肝腫瘍					
		穿刺超音波	肝臓、他	穿刺目的部位(肝臓orその他)					
		ラジオ波焼灼療法(RFA)							
		エタノール注入療法(PEIT)							1日~2日orカルテ記載

5. 検体受入れ不可基準

5.1 検体検査

- 1) 抗凝固剤が入っている検体で凝固している場合
- 2) 検体量が過不足である場合
- 3) 搬送条件が適正でない場合
- 4) 検査時間に制限があり、指定時間外の場合
- 5) 溶血不可項目の検体が、溶血していた場合
- 6) 採血管が指定のもので無かった場合

5.2 生理検査受け入れ基準

5.2.1 生理検査依頼時注意点

検査室	検査項目	依頼医師への注意点	患者への注意点
心電図 内線92001	RR検査	心房細動、心房粗動、その他頻発する不整脈、HR100以上は不可特になし	
	経食道心エコー	検査6時間前からの絶食指示 必要薬品の依頼 自身で施行しない場合は施行できる循環器医へ依頼する	検査6時間前からの絶食 肝硬変や食道に病変あり、麻酔薬にアレルギーあれば申請 検査後1時間の絶飲食
	腎動脈	検査直前の絶食指示	検査直前の絶食(検査が午前なら朝食、午後なら昼食を抜く)
	トレッドミル	内科以外の外来は原則として依頼医が立ち会う 不可能の場合は循環器医へ依頼する	足や腰が悪い方、歩きに自信なければ申請 当日胸痛がある、具合が悪い時は申請 動きやすい服装で来院
	ホルター	検査同日にMRI・CT等の検査を依頼しない(病棟は可)	検査当日の入浴、電気毛布は禁忌 多量の汗をかく運動や行動は控える 携帯電話は必要最低限の使用で 肌が弱い場合は申請
	ABI検査	両側シャントの方は検査不可	
脳波 内線92002	脳波	ポータブル検査は透析回路運転中は施行不可	出来れば前日に洗髪して、整髪料の使用は避ける 検査当日は、早めに起きて検査前に眠らないようにする 空腹を避ける
	神経伝導速度	検査部位数により検査時間が異なる (1部位20分程度)	手足が容易に出せるような服装
	簡易PSG	翌日が診療休日の場合は検査受け付けません	
呼吸 内線92007	呼吸機能精密	酸素使用中の方は検査時に外せること (ナルコーシスを起こさない患者)	検査直前の食事は避けることが望ましい
超音波 内線92010	腹部 腎動脈	絶食を指示してください、飲水は水・お茶は可、乳飲料・炭酸水不可 (摂食での影響; 消化ガス発生→検査条件悪化 胃食残→膵臓描出不良、胆汁分泌→胆嚢収縮) (摂食での影響; 消化ガス発生→腎動脈起始部描出不良)	午前検査は朝食抜き 午後検査は昼食抜き(朝食は8時前にすませてください) 飲水は水・お茶は可、乳飲料・炭酸水不可 腹部が容易に出せるような服装
	体表(甲状腺他)	甲状腺、顎下腺、耳下腺、リンパ節等の目的臓器のみが対象 依頼時に検査部位を選択してください	頭部が容易に出せるような服装
	体表(皮膚科領域)	頭部、胸部、腹部、背部、臀部、上腕、足の目的部位のみが対象 依頼時に検査部位を選択してください	観察部位が容易に出せるような服装
	乳腺	対象部位は、乳腺と乳腺疾患に関与する腋窩リンパ節 (注)腋窩リンパ節のみが検査目的の場合は体表(リンパ節)	脱衣が容易な服装
	頸動脈	対象部位は、頸動脈(CCA、ICA、VA、時にECA)	頭部が容易に出せるような服装
	頸静脈	内頸静脈炎の鑑別(依頼目的は具体的に記載ください)	
	側頭動脈	対象部位は、左右浅側頭動脈。巨細胞動脈炎の鑑別が対象	
	透析血管	対象部位は、透析血管(表在化動脈、シャント血管)	表在化血管は、手術痕にしみ出しがある場合は申し出て
	上肢静脈	穿刺部感染の鑑別が対象(クローズ予約、電話連絡必須)	観察部位が容易に出せるような服装

6. 検査の追加および中止

医師の判断で検査が追加・中止される場合があります。

7. 検体の採り直しの対応方法

検体検査において検体受け入れ不可基準に該当した場合、再採取を依頼する場合があります。中央検査科より医師・看護師・採血室スタッフ・その他スタッフへ連絡後再採取します。

8. 個人情報の保護に関する検査室の方針

8.1 個人情報の収集について

診療・看護および患者さんの医療にかかわる範囲で行ないます。その他の目的に個人情報を利用する場合は、利用目的をあらかじめお知らせし、了承を得た上で実施します。

8.2 個人情報の利用及び提供

以下の場合を除き本来の利用目的の範囲を超えて使用しません。

- ・患者さんの了承を得た場合
- ・個人を識別あるいは特定できない状態に加工して利用する場合
- ・法令などにより提供を要求される場合

8.3 個人情報の適正管理

個人情報の漏えい、紛失、破壊、改ざんの防止に努めます。

(詳細は「患者等の個人情報保護に関する規程」「個人情報保護指針」)

9. 検査室の苦情処理手順

- (1) 中央検査科に届けられたご意見に関しては、ご意見内容に基づき分析を行います。
- (2) 分析の結果具体的な緊急処置を遅滞なく実施します。
- (3) 管理主体は、中央検査科のみで是正、予防処置が行える事柄に関しては、是正又は予防処置を指示し後日は是正されたか否かを確認します。
- (4) ご意見箱への回答は患者様にその内容が伝えられます。

10. 残余検体について

10.1 残余検体を使用し試薬・検査法を検討する場合の対応

検査用に採取された検体は測定後、少量が残ります。通常は再検査に備えて一定期間保管し、その後は破棄されます。しかし、このような臨床検体は非常に貴重であり、当院の検査室において日々の検査が正しく行なわれているかの確認作業や、検査法の比較、学生の教育実習などの目的に活用させていただきます。そこで、測定後の本来は破棄される予定の検体を保存し、これらの目的に使用する事へのご理解・ご協力をお願い致します。

検体からは、お名前、ID 番号などを削除した後使用しますので、個人は特定されず、プライバシーは保護されます。また、通常の検査に使用した後の残余検体の利用ですので、この目的のために採血量が増えることはありません。また遺伝学的検査は含みません。もし、ご同意されないことがあっても、そのことで不利益を受けることは一切ありません。

10.2 残余検体使用時の検査科対応

- (1) 個人情報や検査データなどの守秘義務を遵守します。
- (2) 「業務への使用」には、プール化あるいは匿名化し患者名が特定できないよう検討番号を付与して行います。
- (3) 「研究への使用」には、原則として、被検者から文書による同意を得ます。

測定法の改善や異常値の解明などの検査業務に直接関連する研究では、検体をプール化または連結不可能匿名化する場合はこの限りではありません。

- (4) 遺伝子検査には使用しません。
- (5) 外部に委託あるいは原因追及で依頼する場合には、匿名または任意の検体番号を標識し依頼します。

10.3 残余検体使用の拒否について

上記の趣旨の活動にご協力いただけない場合はお手数ですが、中央検査科 検体受付 電話 0479-63-8111（内線 92070）までお申し出ください。ご協力いただけない場合でも患者さんの不利益となることは一切ございませんのでご安心ください。

11. 関連文書

A250-QMS1	品質マニュアル
A250-QMS4.3-2	品質記録管理規程
A250-QMS4.3.1-L1	内部文書管理一覧
A250-QMS4.3.1-L2	外部文書一覧
A250-QMS4.3.2-L1	品質フォーマット管理一覧
A250-QMS4.3.2-L2	品質記録管理一覧

Ⅲ. 臨床病理科

1. 検査の依頼方法

1.1 通常の依頼

原則医師が電子カルテにて依頼します

1.2 システム停止時

「システム停止時 オーダ伝票」を用いて医師が依頼します。

剖検に関しては「剖検承諾書」を使用します。

2. 患者同意に関する事項

2.1 医師によるインフォームドコンセント

医師が検査の必要性を説明し、インフォームドコンセントを行なう事により、同意を得ています。

3. 採取容器の種類とバーコード

3.1 バーコードラベルと検体ビン

組織診断



ホルマリン固定液

細胞診断



スピッツ、シャーレなど

4. 各種検査項目一覧

(1) 組織診断

(1) 組織診断1 2024年12月 1 日現在

検査項目	提出材料	所要時間	検査方法	生物学的基準範囲
病理組織検査（生検）	組織検体全般	上：緊急		
		下：通常		
		2日	HE染色	
		3-4日		
病理組織検査（手術）		7日	HE染色	
		2-3週間		

各種染色1（一般染色、特殊染色、免疫化学染色、FISH法 等）

検査項目	提出材料	所要時間	検査方法	生物学的基準範囲
ヘマトキシリン・エオジン（HE）染色	未染色標本	2時間		核、塩基性物質 青～青紫色 赤血球 鮮赤色
		1日		細胞質、膠原繊維、筋肉 紅～桃色
エラスチカ・ワンギーソン染色	未染色標本	1日		弾性繊維 黒紫色 膠原繊維 赤色 筋繊維、赤血球、細胞質 黄色
アザン染色	未染色標本	1日		膠原繊維 濃い青色（コバルト青） 糸球体基底膜、細網繊維、硝子様物質、粘液 膠原繊維より明るい青色 核 濃い赤色 細胞質内分泌顆粒 好塩基性 青色 好酸性 赤色 中性好性 中間色 線維素 赤色
マッソン・トリクローム染色	未染色標本	1日		膠原繊維、細網繊維、腎糸球体基底膜 鮮やかな青色 核 紫黒色、紫赤色 線維素、免疫蛋白 赤、赤橙色 粘液 青色 細胞分泌顆粒 好塩基性 青色 好酸性 赤色
オルセイン染色	未染色標本	1日		弾性繊維、 HBs抗原 茶褐色

各種染色2（一般染色、特殊染色、免疫化学染色、FISH法 等）

検査項目	提出材料	所要時間	検査方法	生物学的基準範囲
鍍銀染色	未染色標本	1日		細網線維 黒色 膠原線維 赤紫色 核 黒～えんじ色 細胞質 薄い紫色 赤血球 明るいえんじ色
PAS反応	未染色標本	1日		グリコーゲン、糖蛋白質、糖脂質、不飽和脂肪あるいは一部のリン脂質 赤紫色
アルシアン青染色	未染色標本	1日		酸性ムコ物質 青色 核 赤色
ムチカルミン染色	未染色標本	1日		上皮性粘液、Cryptococcus、Rhinosporidium、Blastomycesなどの酵母様真菌 赤色
コンゴ赤染色	未染色標本	1日		アミロイド ピンクから橙赤色 偏光顕微鏡下では緑色
フォンタナマッソン染色	未染色標本	2日		消化管銀親和性細胞、メラニン保有細胞 黒色 細胞核 赤色
グリメリウス 染色	未染色標本	2日		核 赤紫色 細胞質 青色 好酸性顆粒 赤色 好塩基性顆粒 青色
ベルリン青染色	未染色標本	1日		ヘモジデリン 青色 核 赤色 背景 淡赤色
チール・ネルゼン染色	未染色標本	1日		抗酸菌 淡赤～濃赤色 リポフスチン、セロイド等の抗酸性物質 赤色 背景 青色
グロコット染色	未染色標本	1日		真菌の細胞壁 黒褐色
過ヨウ素酸メセナミン（PAM）染色	未染色標本	1日		腎糸球体、メサンギウム細胞、尿管基底膜 黒色 結合組織 黒褐色
ギムザ染色	未染色標本	1日		核 赤紫色 細胞質 青色 好酸性顆粒 赤色 好塩基性顆粒 青色

各種染色3（一般染色、特殊染色、免疫化学染色、FISH法 等）

検査項目	提出材料	所要時間	検査方法	生物学的基準範囲
エストロゲンレセプター	未染色標本	2日	免疫組織化学	乳管上皮等
プロゲステロンレセプター	未染色標本	2日	免疫組織化学	乳管上皮等
乳癌HER2/neuタンパク (IHC)	未染色標本	2日	免疫組織化学	0：陰性 1+～2+：遺伝子検査へ 3+：陽性
乳癌HER2遺伝子 (FISH)	未染色標本	1～2週間	Fluorescence in situ hybridization	(HER2/neu) / (CEP17) 1.8≧ 陰性 1.8～2.0 再検 2.0≦ 陽性
胃癌HER2タンパク (IHC)	未染色標本	2日	免疫組織化学	1+～2+：遺伝子検査へ 3+：陽性
胃癌HER2遺伝子 (FISH)	未染色標本	1～2週間	Fluorescence in situ hybridization	(HER2/neu) / (CEP17) 1.8≧ 陰性 1.8～2.0 再検 2.0≦ 陽性
肺癌ALKタンパク（高感度 IHC）	未染色標本	2～3日	免疫組織化学	発現なし：陰性 発現あり：陽性、遺伝子検査へ
CEA	未染色標本	2日	免疫組織化学	正常大腸粘膜、胎児胃粘膜、 腺癌等
AFP	未染色標本	2日	免疫組織化学	胎児期の肝細胞、卵黄嚢、肝細胞 がん、一部の胃癌等
CA19-9	未染色標本	2日	免疫組織化学	正常膵、消化管粘膜、膵癌、胃癌 等
IgG	未染色標本	2日	免疫組織化学	Bリンパ球、形質細胞等
P53-D07	未染色標本	2日	免疫組織化学	多くの腫瘍細胞
TTF-1	未染色標本	2日	免疫組織化学	甲状腺濾胞上皮、肺等
D2-40	未染色標本	2日	免疫組織化学	リンパ管等
P16	未染色標本	2日	免疫組織化学	正常膵組織、正常扁桃組織、 子宮頸部扁平上皮癌組織

各種染色4（一般染色、特殊染色、免疫化学染色、FISH法 等）

検査項目	提出材料	所要時間	検査方法	生物学的基準範囲
上皮細胞膜抗原（EMA）	未染色標本	2日	免疫組織化学	多くの腺上皮・導管上皮、多くの腺癌、扁平上皮癌等
ケラチン各種	未染色標本	2日	免疫組織化学	各種上皮細胞
ビメンチン	未染色標本	2日	免疫組織化学	間葉系細胞、分裂期上皮細胞、間葉系腫瘍等
デスミン	未染色標本	2日	免疫組織化学	平滑筋細胞、骨格筋細胞、筋肉系腫瘍等
S100タンパク	未染色標本	2日	免疫組織化学	星状膠細胞、神経節細胞、神経膠腫、母斑、黒色腫等
グリア繊維性酸性蛋白（GFAP）	未染色標本	2日	免疫組織化学	星状膠細胞、脳室上衣細胞、神経膠腫、上衣種等
E-cadherin	未染色標本	2日	免疫組織化学	上皮細胞等
前立腺特異抗原（PSA）	未染色標本	2日	免疫組織化学	前立腺上皮、前立腺癌
Ki67 MIB-1	未染色標本	2日	免疫組織化学	G0期以外の細胞
ChromograninA	未染色標本	2日	免疫組織化学	神経内分泌顆粒

Synaptophysin	未染色標本	2日	免疫組織化学	神経細胞、神経内分泌細胞
CD3	未染色標本	2日	免疫組織化学	正常T細胞等
CD5	未染色標本	2日	免疫組織化学	正常T細胞等
CD20	未染色標本	2日	免疫組織化学	正常B細胞等
CD30	未染色標本	2日	免疫組織化学	活性化B細胞、活性化T細胞、Read-Sternberg細胞等
CD45 LCA	未染色標本	2日	免疫組織化学	正常ないし腫瘍性の白血球
CD56 NCAM	未染色標本	2日	免疫組織化学	NK細胞、形質細胞、神経細胞、神経内分泌腫瘍等
PD-L1（22C3）	未染色標本	2日	免疫組織化学	<1%：非発現 1～49%：低発現 ≥50%：高発現

(2) 細胞診断

検査項目	提出材料	所要時間	検査方法
		上：緊急 下：通常	
細胞診（婦人科）	子宮腔部、子宮頸部、腔断端、 子宮内膜等	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	
細胞診 (婦人科 子宮内膜)	塗抹標本（湿固定）	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	
細胞診（尿）	尿、回腸導管尿、カテーテル尿等	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	
細胞診（喀痰）	喀痰	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	
細胞診 (気管支鏡検体)	塗抹標本（湿固定）	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	
細胞診（気管支鏡 BAL・器具洗浄液）	洗浄液	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	
細胞診（体腔液）	胸水、腹水、体腔洗浄液	1日	パパニコロウ染色
			ギムザ染色
		2～3日	免疫組織化学染色
細胞診（胆道、膵臓）	胆汁、膵液等	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	
細胞診（脳脊髄液）	脳脊髄液	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	ギムザ染色
細胞診 (その他 液状検体)	嚢胞液、分泌液等	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	ギムザ染色
細胞診（頭頸部穿刺吸引 検体）	塗抹標本 (湿固定、乾燥固定)	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	ギムザ染色
細胞診（乳腺、整形領域 等 穿刺吸引検体）	塗抹標本 (湿固定)	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	ギムザ染色
細胞診（穿刺吸引器具 洗浄液）	器具洗浄液	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	ギムザ染色
細胞診 (穿刺吸引 洗浄液)	液状検体	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	ギムザ染色
細胞診（セルブロック）	腹水、胸水	1日	HE染色
		2～3日	免疫組織化学染色 等
		3～4日	セルブロック法
細胞診 (未固定組織検体)	リンパ節、FNA検体	1日	パパニコロウ染色
		2～3日	ギムザA2:F38染色 等

(3) 迅速診断

検査項目	提出材料	所要時間	検査方法	生物学的基準範囲
迅速診断	組織検体	20～30分	HE染色	
	細胞診検体	20～30分	パパニコロウ染色	

(4) 電子顕微鏡

検査項目	提出材料	所要時間	検査方法	生物学的基準範囲
電子顕微鏡	組織検体全般	上：緊急	電子染色	
		下：通常		
		1週間		
		1～2週間		

(5) 遺伝子検索

検査項目	提出材料	所要時間	検査方法	生物学的基準範囲
		上：緊急		
		下：通常		
EGFR変異検索	組織検体	1日	Q-PCR	変異 (+)
	細胞診検体	2～3日		変異 (-)
ROS1変異検索	組織検体	1日	Q-PCR	変異 (+)
	細胞診検体	2～3日		変異 (-)
ALK RT-PCR	細胞診検体	1日	RT-PCR	変異 (+)
		2～3日		変異 (-)
ALL RAS変異検索	組織検体	1～2週間	Q-PCR	変異 (+)
		1～2週間		変異 (-)
遺伝子再構成	組織検体	1日	PCR	monoclonal
	細胞診検体	2～3日		polyclonal
オンコマインDx	組織検体	1～2週間	シーケンス	項目名(+)(-)
		1～2週間		
アモイパネル検査	組織検体	1～2週間	RT-PCR	項目名(+)(-)
		1～2週間		

5. 検体受け入れ不可基準

依頼内容と検体が合わない場合は、検体受け入れ不可となります。

6. 検査の追加および中止

医師の判断で検査が追加・中止される場合があります。

7. 検体の採り直しの対応方法

該当ありません。

8. 個人情報保護に関する検査室の方針

8.1 個人情報の収集について

診療・看護および患者さんの医療にかかわる範囲で行ないます。その他の目的に個人情報を利用する場合は、利用目的をあらかじめお知らせし、了承を得た上で実施します。

8.2 個人情報の利用及び提供

以下の場合を除き本来の利用目的の範囲を超えて使用しません。

- ・患者さんの了承を得た場合
- ・個人を識別あるいは特定できない状態に加工して利用する場合
- ・法令などにより提供を要求される場合

8.3 個人情報の適正管理

個人情報の漏えい、紛失、破壊、改ざんの防止に努めます。

(詳細は「患者等の個人情報保護に関する規程」「個人情報保護指針」)

9. 検査室の苦情処理手順

- (1) ご意見・苦情に関しては内容に基づき分析を行います。
- (2) 分析の結果、具体的な緊急処置を遅滞なく実施します。
- (3) 臨床検査副技師長は臨床病理科のみで是正、予防処置が行える事柄に関しては、是正または予防処置を指示し後日是正されたか否を確認します。
- (4) ご意見箱によせられた内容への回答は病院ホームページなどで公表します。(「苦情処理規程」「是正処置規程」に則ります)

10. 関連文書

A250-QMS1	品質マニュアル
A250-QMS4.3-2	品質記録管理規程
A250-QMS4.3.1-L1	内部文書管理一覧
A250-QMS4.3.1-L2	外部文書一覧
A250-QMS4.3.2-L1	品質フォーマット管理一覧
A250-QMS4.3.2-L2	品質記録管理一覧

改版履歴

版数	改版 年月日	改版事項
1	使用開始日 2018/2/20	初版制定
2	2019/12/1	作成者 岩井利恵→佐藤文美に変更 承認者 花澤節子→岩井利恵に変更 電子カルテ・各検査システム変更に伴い各種検査項目の基準範囲・単位の変更 電子カルテ・各検査システム変更に伴い各種検体ラベルレイアウトの変更
3	2020/12/1	尿β2MGの単位修正 心電図項目一覧の使用機器及び基準範囲変更
4	2021/4/1	2.12.3 院内検査項目詳細一覧（検体検査）レイアウト変更、「保存方法」→「検査科保管方法」に変更 【2.12.3 主な変更内容】 LD → LD (IFCC) ALP → ALP (IFCC) 基準範囲変更 アプト試験夜間休日検査項目より削除 抗マイコプラズマ IgM 抗体項目削除 マイコプラズマ抗原定性追加 出血時間 基準範囲変更 F-T3 基準範囲変更 腹部超音波診断装置変更 心臓超音波診断装置変更
5	2021/12/29	4.3 院内検査項目詳細一覧 生化学 TBA から LABSPECT 008αへ変更 D-Bil δ ビリルビン消去法に変更 Lp(a) 免疫比濁法に変更 CK-MB・フェリチン測定機変更 テイコプラニン測定開始

版数	改版 年月日	改版事項
		心電図 SPP・PVR 使用機種追加 呼吸機能 基礎代謝率 項目削除 酸素摂取量 基準値削除 脳波 AABR(新生児)の測定機変更 MEP に経頭蓋刺激を追加 Ⅲ 4 各種検査項目一覧表の変更
6	2022/4/18	規定を規程に文字変更 確認者 花澤節子から木内清恵に変更 Ⅱ 4.3 院内検査項目詳細一覧 一部修正 Ⅲ 4. 各種検査項目一覧 一部修正
7	2023/1/1	Ⅱ 3. 採血管種類の表変更 Ⅱ 4.3 院内検査項目詳細一覧 一部修正 免疫化学測定機器変更のため NT-proBNP 新規導入 サリチル酸削除 (外注検査へ) Ⅲ 4. 各種検査項目一覧 一部修正
8	2023/8/1	Ⅱ 4.3 院内検査項目詳細一覧 一部修正 Ⅲ 4. 各種検査項目一覧 修正
9	2024/12/	Ⅱ 4.3 院内検査項目詳細一覧 一部修正 Ⅲ 4. 各種検査項目一覧 修正